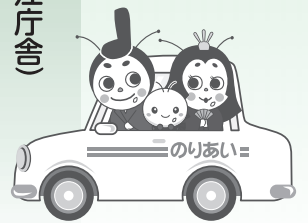


乗って育てる公共交通



市内の路線バスと
乗合タクシー収支状況

問 市防災危機管理課(近江庁舎)

☎ 52-6630 FAX 52-6930

なぜ公共交通が必要か

米原市は南北約30キロメートル、東西約15キロメートルと広い市域のため、駅やバス停から遠い地域も多く、自家用車を持たない人が移動するには大変な状況です。

市の総人口に占める65歳以上の割合(高齢化率)は28.08パーセント(平成30年1月1日現在)で2040年には35パーセントになると予想されています。この超高齢社会を支える基盤として、公共交通は重要になってきます。

市では、平成29年10月から、乗合タクシー「まいちゃん号」を改良し、高齢者をはじめ、障がい者や妊婦、乳児の保護者、学生の通学などに幅広く利用いただけるよう見直しました。

会社や地域ぐるみで考えよう

現在、市内を運行する路線バスと乗合タクシーは黒字収益が見込めず、市が運行赤字額を補助し、路線を維持している状態です。平成29年度の運行経費の状況は下図のとおりです。

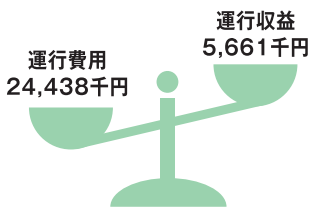
公共交通は、特に子どもや高齢者のみなさんにとってなくてはならない移動手段です。しかし、運行赤字が増えれば市の財政にとって大きな負担となり、存続が厳しい状況になります。

公共交通を維持していくためには、地域のみなさんの協力が必要です。会社や地域ぐるみで「ノーマイカーデー」を設けるなどして、積極的なバスの利用にご協力ください。

乗合タクシー

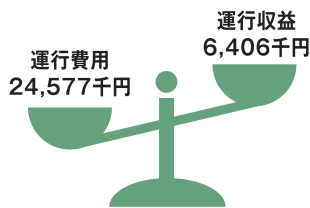
平成28年度

利用者 25,850人
赤字額 18,777千円



平成29年度

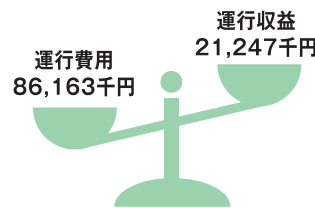
利用者 26,363人
赤字額 18,171千円



路線バス

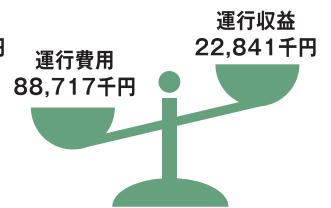
平成28年度

利用者 120,837人
赤字額 64,916千円



平成29年度

利用者 132,012人
赤字額 65,876千円



※平成28年度の集計は平成27年10月1日～平成28年9月30日、平成29年度の集計は平成28年10月1日～平成29年9月30日
※金額は、表示単位未満で四捨五入しています。



切符の購入は市内の駅で!

JR坂田駅、JR醒ヶ井駅、JR柏原駅で切符を購入いただくと、売り上げの約5パーセントが市の収入となります。



乗合タクシーの利用は前日予約がスムーズです!

予約 近江タクシー ☎0749-62-0106

「まいちゃん号」は、知り合いの人と一緒に利用いただくことで、乗合タクシーとして効率のよい運行ができ、市の財政負担も軽減できます。利用される場合は、前日に予約の電話をいただくとスムーズに利用いただけます。

*朝の9時～10時頃は、予約の電話が大変混み合っつながりにくい場合があります。

